Point

ＪＲ東海労　大阪修繕車両所分会分会情報
Ｎｏ．７２　　２０１０．０９．２５．
発行責任者　　坂東　貞男
編集責任者　　教　宣　部

一人で悩まず、誰かに相談しよう！

先月20日、大阪台車検査車両所の若手の社員が亡くなりました。

大阪修繕車両所でも23日頃に訃報が掲出されましたので知っている人も多いことと思われますが、亡くなったのが金曜日ということなどで大阪台車検査車両所の社員でも告別式後の週明けまで訃報を知らなかった社員も多くいたようです。そのため先日、JR東海労大阪台車検査車両所分会の仲間が亡くなった若手社員に線香を手向けるために実家へ出向きました。

その時にご両親からお話を伺ったところ、若手社員は自ら命を絶ったということで、同じ職場で働いていた社員としてショックであり、残念でもあり、なんとも言えない思いを抱いたそうです。

現在、日本での自殺者数は、平成15年に3万4427人が自殺したのが最高ですが、平成10年以降毎年3万人以上の人が自殺しているのが現状です。つまり、日本では毎日平均80人から90人の人が自ら命を絶っていることになります。統計上の自殺の原因・動機は「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」「勤務問題」が多いそうですが、自殺する人には、統計上では表れないそれぞれの原因・動機があると思います。

今回の若手社員は、遺書で労災事故を起こしたことを悔やみ、そのことにより自分が他の仲間から取り残される不安、自分がどう見られているのか、将来の希望を失うことへの失望感がつづられていたそうです。

つまり職場の問題で自ら命を絶ったほどの精神的な不安（つらさ・苦しさ）に追い込まれてしまったようです。

ご両親もおっしゃったそうですが「死ななくても相談してくれれば…」という思いは、同僚としての思いでもあります。

私たちJR東海労は、8年前に鳥飼基地で共に働き・闘ってきた仲間を自殺で亡くしています。その時も「仲間なんだから何で相談してくれなかったのか」と思ったものでしたし「何で悩んでいることに気づいてやれなかったのか」と悔しい思いを抱いたものでした。今回の大阪台車検査車両所の同僚も同じように悔しい思いをしていることと思います。

だからこそ**私たちはJR東海労は訴えます。**

自ら命を絶つことは絶対しないでください！

人間生きていく上で「楽」ばかりではなく、絶対に「苦」もあります、むしろ苦難の方が多いでしょうが、負けずに強く生きていきましょう。もし自殺を考えそうになったら、誰かに助けを求める事が大切です。誰かに悩みを聞いてもらいましょう。もう一度訴えます

自ら命を絶つことは絶対しないでください！